

北薩の輝き

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

「凡事徹底」

管理課長 加治佐 賢

辞書を引くと「当たり前のことを人には真似できないほど一生懸命やる」と書かれている。私の中ではそのまま「凡事を徹底する」と捉えている。座右の銘でもないし、常に実践しているということでもないが、好きな言葉である。企業や学校、部活動等のスローガンになっているところもある。

元大リーガーのイチロー選手は、高校時代3年間寝る前の10分間、素振りを欠かしたことがないと言っていた。甲子園で優勝したチームのある監督が、毎朝15分間ゴミ拾いをする、トイレの掃除をする、靴をしっかりと並べる、これらができるようになってきて、野球も強くなっていったと言っていた。どちらも簡単そうに見えるが、それをやり続けることは非常に難しいことだと思う。

また、サッカーワールドカップロシア大会で、負けた後の日本チームのロッカールームはきれいに掃除が行き届いており、「ありがとう」というメッセージカードが残されていたこともよく報道されていた。

4月から教育事務所勤務となり、10年ぶりに学校を訪問する機会を得た。花がたくさん植えてある学校、芝や草がきれいに刈られている学校、子供も職員も元気よく挨拶してくれる学校、自転車や一輪車が整然と並べられている学校、掲示の仕方が統一されている学校など、気持ちがよくなりうれしく思ったことは少なくない。

学校においては、校訓、目指す児童生徒像、目指す教師像等、様々な目標が掲げられている。学校としてやるべきこと、職員一人一人がやるべきこと、子供たちがやるべきこと、年度当初に、職員や児童生徒・保護者に示した目標は、今、どのような段階にあるだろうか。

今年度も折り返しが過ぎ、これらの進捗状況がどうなっているのか、それぞれ確認されていることだろう。

以前勤めた部署の上司から、「世の中におよそ雑用というものはなし」と言われたことがある。当たり前のことではあるが、各学校においても「時を守る、場を清める、礼を正す」ことを日常の教育活動において大切にしたい教育が展開されることを期待したい。

主体的・対話的で深い学び

〔薩摩川内市立川内北中学校〕

「学びの組織活性化」推進プロジェクト実践校として、全職員で組織的にかつ総合的な学力向上に向けた取組を行い、PDCAサイクルを前期と後期の2回実践し、授業改善に努めています。

① 主体的に対話する場の工夫



(英語科の言語活動の様子)

英語科では、グループを意図的に編成し、生徒同士で教え合い・学び合う活動を積極的に取り入れています。生徒相互の「話す」「聞く」活動が活発に行われ、主体的に対話する姿に繋がっています。

② 企画実験による主体的・対話的で深い学び



(理科の課題解決の様子)

理科では、単元末に既習事項を活用した実験を伴った課題解決学習を自ら企画し実証する活動を取り入れています。見通しをもって実験することで、生徒が主体的に思考し、積極的な対話が生まれ深い学びに繋がっています。

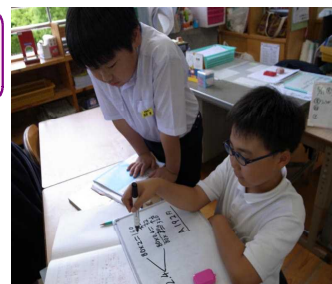
生徒には学び方アンケート、職員には指導の在り方を振り返る自己評価を行い、生徒と教師の結果の相違を分析・協議することで実態に応じた具体的な授業改善を図っています。

また、教科の特性に応じた重点項目を全ての教科に設定することで、生徒主体の授業に高まりつつあります。

〈教育事務所から〉

川内北中学校は、昨年度はモデル校、そして本年度からは実践校として、校内研修の充実に努めています。教科を超えた先生方の学びを授業改善に生かしています。

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果 (北薩地区)



平均正答率(%)	小学校 (6年)		中学校 (3年)		
	国語	算数	国語	数学	英語
地区	65	65	69	55	52
県	66	65	70	57	53
全国	63.8	66.6	72.8	59.8	56.0
全国との差	+1.2	-1.6	-3.8	-4.8	-4.0

【児童質問紙】全国、県よりも高い割合の主な質問事項

	地区	県	全国	差と差	細と差
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	66.4	63.6	59.5	2.8	6.9
今住んでいる地域の行事に参加していますか。	56.3	45.4	37.2	10.9	19.1
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか。	50.4	47.9	42.1	2.5	8.3

【生徒質問紙】全国、県よりも高い割合の主な質問事項

	地区	県	全国	差と差	細と差
今住んでいる地域の行事に参加していますか。	39.8	25.3	21.0	14.5	18.8
授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか。	55.0	52.7	48.0	2.3	7.0
1, 2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか。	39.7	33.6	34.0	6.1	5.7

※ 地区、県、全国の数値は、「当てはまる」に回答した児童生徒の割合を示してある。

小学校：国語は若干全国を上回っており、回復傾向にある。(H30国語A：-3, 国語B：-4)

中学校：国語、数学、英語の全教科が全国との差が大きく、学力が課題となっている。

児童生徒質問紙：小・中学校ともに「今住んでいる地域の行事に参加している」の項目が全国を大きく上回っており、郷土の伝統と文化を大切にしている態度が育まれている。

「体力アップ!チャレンジがしま」への積極的な取組を!

体力の向上だけでなく、学級づくりや、児童生徒が目標に向かって努力する「実体験の場」としても有効に活用され、昨年度も地区内の学校で取り組まれました。

今年から申告時期が前期(8月末)と後期(1月末)の2回となりました。

【北薩地区内申告状況】

	小学校申告率	中学校申告率
R1前期	70%	53%
H30	98%	66%

今年度、目標を地区内申告率100%としています。宜しくお願いします。

受賞

おめでとうをいいます

文部科学大臣表彰に係る学校安全・給食優良学校

学校安全優良校 さつま町立流水小学校

学校給食優良場 薩摩川内市立川内中学校給食センター

子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰

優秀実践校 出水市立切通小学校

地域が育む「かごしまの教育」 県民週間 表彰

【標語】 学校賞 長島町立長島中学校

【ポスター原画】 学校賞 薩摩川内市立亀山小学校

県学校環境緑化・学校林等活動コンクール

学校林等活動の部優秀賞 出水市立大川内小学校

県子ども会育成連絡協議会表彰

団体 西福ノ江子ども会育成会(出水市)

県PTA連合会団体表彰

団体 阿久根市立田代小学校PTA

～ 後部座席シートベルト着用を徹底しましょう! ～

後部座席のシートベルト着用については、道路交通法の一部改正(H20.6.1施行)により、助手席以外についても義務付けられています。

しかし、本県の一般道での後部座席着用率に関する調査結果では全国平均(38%)を大幅に下回る結果(17.5%)となっています。(全国ワースト1!!)後部座席同乗中、もし事故に遭った場合には、「三つの危険」があります。

- 1 自分自身が大きな被害に遭う危険
- 2 車外に放出される危険
- 3 前席同乗者への加害の危険(※前席乗員が頭部に重傷を負う確率は非着用時の51倍です。但し、妊婦の方で着用に心配な場合は医師に相談ください。)

オープンサポート教科フオーラム

11月15日(金)、北薩教育事務所で開催します。当日は、山本義務教育課長の講話を予定しておりますので、御参加をお願いします。



編集後記

当教育事務所では、ホームページを随時更新しています。重点施策をはじめ、各種研修会の様子などタイムリーな情報を掲載していきますので、是非御覧ください。

北薩教育事務所

検索